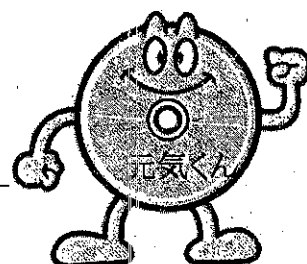


元気アップ塾だより

大阪市立梅香中学校

令和 8 年 2 月 1 日

NO 71 号



はるつけくさ 春告草

梅一輪 一輪ほどの 暖かさ (服部嵐雪)

「春告鳥」は、鶯(うぐいす)「春告魚」は、鯀(にしん) そして春告草といえば梅のことです。また、「好文木(こうぶんぼく)」ともいわれ、学問の象徴でもありました。香りもよいので句草(においぐさ)、香栄草(かばえぐさ)。一年のうちでいち早く花を咲かせるので「花の兄」。

春風を待つので、風待草(かぜまち草)ともいいます。雪も似合うし、鶯とは名コンビで、万葉集には桜よりも多く詠まれています。昔から「桜切るばか、梅切らぬばか」といわれるほど、梅は枝を切れば切るほど、活力を増していくのだそうです。あのたくましい枝ぶりは、その生命力の表れなのですね。

美しいだけでなく、遠い昔から、私たちに勇気を与えつづけてくれる花…。そして、一輪ごとに春を呼んでくれる花です。 (美人の日本語より)

【嬉しいスポーツマンシップを発見！】

最後まであきらめない心

梅香中学校

私たちサッカー部は、大阪市秋季大会で二年連続の優勝を掴みました。決勝戦で相手の攻撃が強く、ディフェンスとしても苦しい時間が続きました。それでも仲間の声やベンチからの応援に支えられ、最後まで集中して守り切ることができました。

私は、これまで自分のプレーに自信が持てず悩んだ時期もありました。しかし、チームのみんなが励ましてくれたおかげで、「自分もチームの力になれる。」と思えるようになりました。二連覇が決まった瞬間、努力してきた日々が報われようで涙が出ました。この大会通して、仲間を信じて最後まであきらめないことの大切さを学びました。この経験を胸に、何事にも全力で取り組んでいきたいです。

先生や保護者、チームメート、審判の方などたくさんの支えがあり、ここまでやることができました。支えてくださった全ての方に感謝します。

ありがとうございました。

(大阪市 中体連だより 令和7年12月10日発行より)

《こぼれ話》

引退馬たちと生きる！ 2025年9月9日あるニュースが流れました。「ハルウララ死す」。この名前をご存じの方は多いと思います。2003年、地方競馬で一頭の競争馬が注目を集めました。デビュー以来一勝もできず。結局、113敗で引退しましたが、小さな体で力強く走るこの馬に、多くの人たちが共感を覚えました。